

## 九州大学アジア人財プログラム - 過去のトピックス (平成20年度) -

2008年10月～

平成20年度 アジア人財資金構想 企業見学会

九州大学では、平成20年10月から、我が国企業に就職意志のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、工学府に設置した専門プログラムの中で実践的なカリキュラムを開発し、専攻分野のみならずエネルギー・環境を意識したものづくりができる人材育成を図り、企業の即戦力となる人材を輩出し、我が国産業界への100%就職を目指すプログラムを展開しております。

現在、12名の留学生が同プログラムに参加し、エネルギー・環境に係る専門教育、日本ビジネススタイル、日本文化・風土等を盛り込んだ日本語教育、さらには就業体験の場としてのインターンシップ事業など、日本企業に就職するために必要な知識や、日本企業で働く意義や役割等を学んでおります。

この一環として、留学生にもものづくり企業の現場を体験させる実践的な場を提供し、我が国産業界への関心を高めさせつつ具体的な就業へと導くための企業見学会を実施しております。

ビジネス現場の体感

専門知識の付与による知的好奇心の高揚、日本語スキルの向上

就業機会の増大

(1) 平成20年11月21日 【三菱重工業(株)長崎造船所諫早工場】



(2) 平成20年11月28日 【九州電力(株)玄海原子力発電所】





2008年12月1日

平成20年度 アジア人財資金構想 就職支援セミナー～留学生のための就職支援～（開催結果）

平成20年12月1日（月）ホテル日航福岡（於：福岡市）において、「平成20年度アジア人財資金構想 就職支援セミナー」を開催しました。

九州大学では、平成20年10月から、我が国企業に就職意志のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、工学府に設置した専門プログラムの中で実践的なカリキュラムを開発し、専攻分野のみならずエネルギー・環境を意識したものづくりができる人材育成を図り、企業の即戦力となる人材を輩出し、我が国産業界への100%就職を目指すプログラムを展開しております。

この一環として、留学生に対して産業界の情報（企業、就職、求める人材像等）を提供する場として、「就職支援セミナー」を開催いたしました。当日は、留学生、産業界、大学関係者等98名が出席しました。

セミナーでは、プログラム参加留学生12名から「我が国産業界への期待と抱負」を発表後、プログラム参画企業13社から留学生採用に向けた取り組みや求める人材像の説明、留学生OB2人から体験談が発表されました。



（セミナー会場の様子）



（留学生発表）



（参画企業によるプレゼン）



（参画企業によるプレゼン）



（留学生OB体験談）



（取材の様子）



（企業ブースを設けての質疑応答）

2009年2月24日

平成20年度 アジア人財資金構想 インターンシップ成果報告会（開催結果）

平成21年2月24日（火） ホテル日航福岡（於：福岡市）において、「平成20年度アジア人財資金構想 インターンシップ成果報告会」を開催。

九州大学では、平成20年10月から、我が国企業に就職意志のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、工学府に設置した専門プログラムの中で実践的なカリキュラムを開発し、専攻分野のみならずエネルギー・環境を意識したものづくりができる人材育成を図り、企業の即戦力となる人材を輩出し、我が国産業界への100%就職を目指すプログラムを展開中。

この成果を日本の産業界の皆様方に直にお見せすることこそ、留学生への理解の増進と、留学生の就業機会の増大に繋がるものとして、「インターンシップ成果報告会」を開催した。当日は、留学生、産業界、大学関係者等77名が出席。

成果報告会では、石井幸孝氏（元九州旅客鉄道社長/会長、日韓インターンシップ協会会長）の基調講演の後、プログラム参加留学生12名が「昨日までの自分、明日の自分」と題しこれまでの成果や今後の目標を発表。その後、総評が行われ閉会。



（留学生発表）



（留学生発表）



（留学生発表）



（会場の様子（留学生））



（会場の様子（留学生））



（会場の様子（産業界））

2009年2月24日

平成20年度 アジア人財資金構想 日本語セミナー（開催結果）

平成21年2月24日（火） ホテル日航福岡（於：福岡市）において、「平成20年度アジア人財資金構想 日本語セミナー」を開催。

九州大学では、平成20年10月から、我が国企業に就職意志のある能力・意欲の高いアジア留学生を対象に、工学府に設置した専門プログラムの中で実践的なカリキュラムを開発し、専攻分野のみならずエネルギー・環境を意識したものづくりができる人材育成を図り、企業の即戦力となる人材を輩出し、我が国産業界への100%就職を目指すプログラムを展開中。

この一環として、留学生に日本語の視点からその意義について学んでもらうための場として「日本語セミナー」を開催いたしました。当日は留学生、産業界、大学関係者等40名が出席。

セミナーでは、留学生の先輩という立場から元九州大学の留学生である2名の講師が「日本語で苦労したこと、やっておいの方が良いこと」をテーマに講話。また、基調講演として財団法人海外技術者研修協会より講師をお迎えし、テーマ「ビジネス日本語の目指すもの」についてお話し頂いたところ。



（基調講演）



（講師による講話）



（会場の様子）